

技術部会 <医療懇話会>

☆世話役

・佐藤和恵 ・鶴岡正吉 ・赤堀智行

☆年間実施計画

- <実施> 年間3回
- <開催> 技術部会定例会
- <テーマ> 会員に役立つ最新の医療講座
- <講師> 大学及び基幹病院の専門的立場の医師
- <謝礼> 20,000円程度
- <参加費> 1,000円
- <対象> DF技術部会メンバー

医療講演テーマ

救急医療	癌治療	介護関連
救急医療と脳血管障害 昭和大学 土肥先生	消化器疾患と内視鏡 <消化器癌> 昭和大学 山村先生	地域包括ケア 湧上虎平
救急と延命処置 昭和大学 古川先生	最新の癌治療 <免疫療法> 昭和大学 吉村先生	共生社会 湧上虎平
コロナ感染下における病院医療体制の現状と課題 昭和大学 八木先生	癌を知る <乳癌> 慶応大学 池田先生	介護の現状と問題 湧上虎平

医療講演テーマ

高齢疾患	DF講演	特別講演
加齢と眼科 昭和大学 岩渕先生	痛み---不思議な感覚 鶴岡正吉	コロナウイルス総論 昭和大学 木内先生
整形外科疾患 昭和大学 矢倉先生	老化とは 佐藤和恵	
高齢化と歯科医療 昭和大歯科 七田先生	高齢者の健康・経済 佐藤和恵	
健康に寄与する口腔の機能 昭和大歯科 桑澤先生	カカオハスクの抗酸化作用 佐藤和恵 排尿障害の原因と治療 鶴岡正吉	

<日本の医療問題>

★2025年問題

- ・団塊世代800万人プラス(国民の1/4)
- ・要介護、利用者の増加
- ・介護離職(10万人)と人材不足(70万人)
- ・年金、社会保障費の増大と文教、科学技術費の削減
- ・介護難民・老老介護・虐待・核家族化

★医学教育

★医療保険制度・診療報酬制度

★低医療政策による医療崩壊

2023年度開催計画

演題	演者
これからの高齢者医療	厚生労働省 老齢専門医
日本の医療問題	厚生労働省 大学病院他

2025年問題

* 75歳以上 国民の4人に1人(2200万人[※])

* 問題のポイント [人口と労働力・医療・介護・社会保障費・空き家]

- ・労働力不足:約600万(情報通信・卸売・農林水産・運輸・建設・金融不動産)
- ・医療:医療・介護サービスの利用急増⇒病院・医師の減少、医師NSの人手不足
医療保険給付54兆円(日本の現財力では無理)
- ・介護:人材(必要人材250万人、確保210万人)⇒介護難民の急増
認知症---高齢者の20% 「介護人材不足」「老老介護」「認認介護」
- ・社会保障費:140兆円 受給金額の減少と支給年齢の引き上げ⇒年金制度の破綻か
- ・空き家:2017年築50年マンションは5.5万戸、2025年には30万戸⇒空き家問題

* 対策

- ・地域包括ケアシステムの導入
住居・医療・介護・生活支援等をトータルサポートする
- ・病院から在宅へ

2024年度開催計画

☆開催日：6月28日(金)14:00-16:00

☆場所：航空会館 会議室 9階

☆演題：地域ケアサービスの現状と課題

-----団塊世代は何をすべきか-----

☆演者：宮崎敦文氏

厚生労働省大臣官房審議官(総合政策担当)

☆主催：経済産業懇話会、医療懇話会

地域デザイン総合研究所・健康医療研究会

超高齢社会の中で、我々一人一人どうすべきか？

東洋医学研究の追加

☆東洋医学は、自然治癒力を高めて、不調や病気を治療する伝統医学

* 2000年以上前に中国大陸で生まれ日本に渡り独自に発展

* 治療法には、鍼灸、按摩、漢方薬、薬膳

<これからの医療>

* 西洋医学と東洋医学の融合

西洋医学と東洋医学の違い

	西洋医学	東洋医学
治療	病原が中心	全身のバランス
分野	感染症や手術が必要な病気	不定愁訴や予防医学
メリット	すぐに効果が出る	副作用の心配がない
デメリット	副作用の心配がある	改善までの個人差